

# 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科

放射線腫瘍学講座

研究責任者： 佐藤 まり子

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

**臨床研究名称** 前立腺癌に対する強度変調放射線治療における有効性と安全性に関する遡及的研究：通常分割照射と寡分割照射の比較

## 研究の目的

前立腺癌に対する外部照射では、従来行われてきた通常分割照射と呼ばれる治療法と比較して、1回に照射する放射線量を増やして照射回数を少なくする寡分割照射法の方が、効果と副作用のバランスの観点から有利とされています。さらに、寡分割照射では治療期間が短縮できることから、患者さんの通院負担の軽減などにつながり、近年積極的に導入されている治療法です。当院では、限局性前立腺がんに対する放射線治療として、2024年から寡分割照射法での治療を実施しています。

本研究では、通常分割照射法と寡分割照射法で治療の効果や副作用の発生を比較し、寡分割照射により実際に得られる利点を明らかにすることを目的としています。

**研究実施期間** 実施許可日 ～ 2030年 3月 31日

**対象となる方** 2013年4月1日から2029年3月31日までの期間、当院放射線治療科を受診し、前立腺癌の診断でIMRT(強度変調放射線治療)を受けた方。

## 利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、患者背景、放射線治療に関する情報、臨床経過、予後情報について、標記研究のために利用します。利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、研究を実施します。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますがその内容から個人が特定される事はありません。本研究で得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

## 外部への試料・情報の提供

外部への情報提供はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当

該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

**本件連絡先**

放射線腫瘍学講座 佐藤まり子  
電話：0172—39-5103